

高速道路における事故対応訓練会



東北自動車道多重事故が教訓，関係機関と合同訓練で連携強化！

大崎消防本部では，1月に大崎市古川の東北自動車道下り線で起きた多重事故を受け，NEXCO東日本や県警高速隊，大崎市防災安全課，大崎市民病院DMAT（災害派遣医療チーム）など約100人が参加し，活動手順を確認しました。

訓練は，中央分離帯での衝突事故を想定したもので，実際に10台の車両を事故車に見立て，横転した車両からドライバーを救出したり，負傷者のトリアージや応急救護活動を行いました。



◆バスを含む10台の事故車両と消防隊の到着状況



◆横転した車両内に閉じ込められた負傷者を救出する特別救助隊



◆拠点機能形成車内に設置された応急救護所で治療にあたる大崎市民病院DMATチーム